

# 令和2年度 スポーツ産業の成長促進事業「スポーツ経営人材育成・活用推進事業」 実践的スポーツ経営人材育成カリキュラム開発支援 報告会のご案内

## 1. 委託事業の背景と課題：

スポーツ庁は、2025年に現在のスポーツ産業規模を3倍にするという目標を掲げ、社会のスポーツビジネスに対する気運は高まっている。一方、スポーツ産業の規模拡大ならびに持続的成長を促進する人材の育成は未だ発展途上である。また、新型コロナウイルスの世界的大流行により、東京オリンピック・パラリンピックや、数々のプロ・アマチュアスポーツイベントが、延期や中止を余儀なくされている現在のスポーツ産業は激動の時代を迎えており、この試練を大きな飛躍に転換させることができる**人材の育成は急務**と言える。

人材育成の面について特に大学院レベルのスポーツマネジメント教育の拡充は、未だ欧米から後れを取っており、高等教育機関では、研究者教員が実践を軽視（もしくは実務者教員が理論を軽視）した短絡的なプログラムを展開する傾向があり、**理論と実践という多様性を備えた教材の開発が課題**である。

## 2. 事業の目標：

そこで本事業では、**スポーツ経営人材の育成を促進するための実践的な教材の開発**を目的とし、ビジネス・マネジメントの理論やフレームワークに精通する研究者と、スポーツビジネスに従事する実務家が、実践的かつ汎用性のある教材の共同開発を行う。開発された教材は、スポーツマネジメント関連大学院及びコースのみならず、経営学系大学院及びコースにおいても活用されることを目指し開発され、**今まで我が国には存在しなかった理論と実践を追求したスポーツビジネス教材**が誕生する。

## 3. 各ケースのトピック：

No.	担当者名	トピック (案)
1	和田由佳子・松岡宏高	ジャパンラグビートップリーグの観客維持とファン層拡大に向けたマーケティング戦略
2	足立名津美・松岡宏高	フィットネス産業：変化する経営環境下での顧客維持・拡大のためのマーケティング戦略
3	住田健・前田和範	高知ファイティングドッグス：スポーツチームが“地域課題を解決する起爆剤”に
4	吉田政幸	東京マラソンのマーケティング・コンセプトの理解と成長戦略の検討
5	辻洋右	株式会社マネーフォワードのスポーツスポンサーシップ戦略 (仮)
6	備前嘉文・吉倉秀和	アスリートとのパートナーシップによるプロモーション戦略
7	押見大地	スポーツを活用した都市戦略
8	浅田瑛	千葉ロッテマリーンズ：熱狂的ファンがもたらす影響とファンベース拡大戦略
9	佐藤晋太郎・木下敬太	アルビレックス新潟シンガポールの国際市場拡大戦略
10	原田宗彦・山下玲	国内スキーリゾートにおける市場拡大戦略：HakubaValley Tourismのケース

## 4. 開催日時：

2021年1月29日（金） 13:00～15:30

## 5. スケジュール

13:00～13:10 開会挨拶（教材開発責任者：原田宗彦 早稲田大学スポーツ科学学術院 教授）  
主旨説明（教材開発チーム長：松岡宏高 早稲田大学スポーツ科学学術院 教授）  
13:10～15:20 各ケース概要説明  
15:20～15:30 閉会挨拶

## 6. 開催方法：

オンライン開催（Zoom）

【参加申込フォーム】

## 7. 参加申込：

参加申込フォーム（Google form）に必要事項を記入し、お申し込みください。



## 8. 主催：

スポーツ庁

早稲田大学スポーツ科学学術院（問い合わせ先：info.sportcases@gmail.com）